

「学校教育目標」と「令和8年度重点目標」に向けて

学校教育目標 「自ら学び 心豊かで たくましい子の育成」

令和8年度 重点目標 「あいさつ・健康・学び合い」

豊かな人間性

認め合い、助け合う子

行動目標「心をつなぐあいさつをしよう」

・あいさつを通した豊かな心の涵養

健やかな体

気持ちよく学校で過ごす子

行動目標「自分の体を大切にしよう」

・食を通した健康な体づくり
・運動を通した体力の向上

資質・能力の育成

自分の考えを持ち、問題を解決する子

何ができるようになるか

○学校教育の基本

・学びや体験を生かし、自分の考えをもつことができる。
・自分の考えを主体的に伝えたり、友達の考えを認めたりすることができる。
・これまでの学習を生かし、自分の考えを広げたり深めたりして、課題解決に生かすことができる。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

・学んだことや体験したことを学習活動と比べたりつなげたりしている。
・自分の考えを主体的に伝え、友達の多様な考えを聞き、受け止めようとしている。
・これまでの学習を生かし、学び合うことを通して自分の考えを広げたり深めたりして課題解決の方法を見出している。

児童の実態

・挨拶を返すことはできるが、自分から進んで行う姿はあまり見られない
・与えられた課題に対して素直に頑張ろうとする
・自ら考え行動することは苦手である

児童の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする児童への指導

○個に応じたきめ細やかな指導
・サンサンスタッフや、介助員、SC等と連携し、一人一人の教育ニーズを把握し、支援する。
○チーム対応「みんなでみんなを育てよう」
・職員間の情報共有及び外部機関との連携により、チームで支援する。

目指す児童の姿

・認め合い、助け合う子
・気持ちよく学校で過ごす子
・自分の考えをもち、問題を解決する子

何を学ぶか

○教育課程の編成

・教育活動全般を通じた「聴いて、考えて、つなげる」の実施。
・聴く力・話す力・書く力・読む力の育成
・1年生から6年生までの6年間を見通した授業作り
・家庭と連携した学習習慣の確立

どのように学ぶか

○教育課程の実施

・「あたたかい聴き方やさしい話し方(ステップアップ表)」を基盤とした活動

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

○学校研究及び校内研修の充実 ○いじめ等に対する迅速かつ適切な初期対応及びチーム対応 ○お互いの違いを認め合うあたたかな学年、学級経営 ○教育相談コーディネーターを核としたスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、市教委「相談支援チーム」等との連携 ○家庭、地域との情報共有及び連携・協働 ○学びの連続性を意識した幼小中の連携 ○子どもと向き合う時間の確保 ○学校栄養士と連携した食育

安心・安全を守る

・教育活動全般における万全の安全対策
・自分の命は自分で守る子どもの育成(安全教育・防災教育)
・認め合い、安心して過ごせる学校(人権尊重)

開かれた学校作り

・地域の人材、教材を生かした学校づくり
・分かち合い、話し合い、情報を共有できる環境
・学校便り、学年・学級便り等による積極的な情報発信